

風

赤いとらが
なくのだよ

すすき野原を
かきわけて

ぽつんと
ひろがる
ゆうぞらに

月があがって
くることを

赤いとらが
なくのだよ

うすい雲間を
にぎりしめ

ぽきりと
おれた
牙先に

あまいゆきが
ふることを

赤いとらは
なくのだよ

かたい草を
かまぬ日が

ようやく
まぢかに
くることを